

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

というわけで、始まってしまいました。

ああ……。

旅行ブログ⇒ワナビブログって、世間的には完全に格落ちだぜ……。

まあでも、仕方ないよね！

だって自分は、ワナビだもん！

そんなわけで、今回のブログタイトルは「らくだ図書館」。

テンプレートは完全に旅行ブログの使い回しなので、それほど不便な点はないと思いますが、リンクがおかしい部分等ありましたら教えてください。

ちなみにテンプレートがまったく同じ故に、「旧⇒新」「新⇒旧」のリンクを貼る作業で、ものすごく混乱しました。

どっちが旅行ブログで、どっちが投稿ブログだー！

(二つ並べて開くと、パッと見完全に一緒)

まあねえ……。

それなら引っ越さなきゃいいんですが、これまでは色々と不都合が多かったので。

真面目にザビエル教会の記事を見に来られる方がいる中で、「ザビエル萌え通過キタコレー」とか書くのは、心底申しわけない気分でした。

そんなわけで今まで自分を抑えてましたが、今回は出発がワナビブログということで、よりディープな記事が書けるかと思います。

ただ唯一心配な部分は、旅行ブログから移動してくださる読者の方が、どれくらいいるのか……。

まあでも、いっか。

引っ越したせいで友達が減っても、新天地で新たな友達ができるかもしれないし、あまり気にせずに書いていこうと思います。

このラノに送る新作、印刷完了。

しかし、最初に思った以上に、少女系っぽく仕上がったなあ……。  
とはいえ、コバルトに投入できるほど、本格的な少女系ではない……。

毎度思うんですが、自分の書く作品は、少年系にも少女系にもなりきれないようです。

まあ、それも仕方ないか。  
得意なジャンルは、ザビエル系だからな。

「宣教師モノ募集！」な新人賞があったら、確実に大賞を受賞する自信あるぜ！

しかしまあ、作品タイトルがザビエルに対する愛の告白で、一番の見せ場はザビエルの全裸入浴シーンという「好きです、ザビエル様っ！」が一次通過したのは、2011年最大の奇跡だったと思います。

自分で書いといて何ですが、どうして通ったんでしょうね、コレ。

まあ、他の人が絶対に書かない内容であることは間違いないけど、世間的な需要は完全にゼロ（むしろマイナス？）だと思うけどなあ……。

そう考えると、スーパーダッシュは懐が広すぎます。

それはまあともかく、今回のこのラノ用の新作はそういう問題作ではないので、お正月が明けたら宅急便で送ろうと思います。

頑張る女の子が主人公の、さわやかな師弟愛作品に仕上がった……はず……。

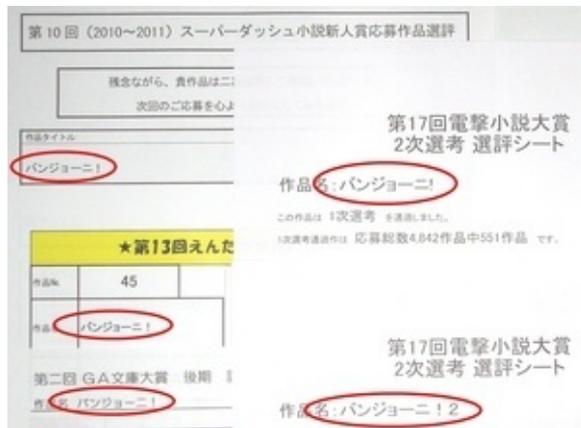
せっかくなので、SDで落ちてフリーになった「激烈ワナビ戦」とコンボを組ませて送ろうと思います。

さて、次は何を書くかなあ……。

「バンジョーニ！」だけで主要な新人賞の評価シートをコンプリートする計画。

現在のところ、4枚ほど集まりました。

(タイトルだけなら、写真を掲載しても構わないだろう……)



【回収成功】

- ・ GA
- ・ 電撃
- ・ SD
- ・ えんため

【返り討ち】

- ・ ガガガ

【突撃中】

- ・ このラノ

ここまでくると受賞ではなく、評価シートを集めることが、バンジョーニの存在意義です。

なんか、ちょっと不憫だな……。

ワナビ戦やザビエル様と違って、内容的には真面目に書いた作品なのに……。

まあしかし、すでに4枚集めたからには、さらに上を目指してみます。

最終目標は、おそらく前人未到の「10枚」ですかね。

2012年の目標

「『バンジョーニ!』だけで主要な新人賞の評価シートを合計10枚集める」

そんなこんなで幕を開けた、2012年。

野性時代とSDの2次発表を待ちつつ、電撃用の新作を書き進めようと思います。

それにしても、一迅社アイリスの一次発表はいつなんだろう……。

昨年9月末が締切りだった、第3回一迅社文庫大賞アイリス部門。

一次発表って、いつなのよ？

9月末締切りってことは、さすがにもうそろそろだよな？

そう思って前回（第2回）のデータを調べてみたところ、衝撃の事実発覚。

-----  
<公式ブログからコピー>

2011-07-20 17:58:05

☆第2回 一迅社文庫大賞・アイリス部門第一次選考結果発表中☆  
-----

なっ！

締切りが9月末で、一次発表が翌年の7月20日だと！？

一迅社アイリス、マジでパネェな……。

富士見ファンタジアのはるか上をいくぜ……。

一次発表が7月下旬ってことは、本気で電撃よりも後ですよな。

事前に調べなかった自分も悪いけど、せっかくの持ちネタを今後7月末まで使い回しのローテーションに組み込めないのは、やはり手痛いです。

ええ。

非難覚悟で宣言しますが、自分の趣味は投稿作品の使い回しです。

まあでも、使い回し作品だけにすがっているわけじゃなく、新作も書いて一緒に投稿しているので、その辺はどうか許してください。（誰に言ってるんだ）

……とにかく、アイリスには送るんじゃなかったー！！（本音）

年末に天王寺動物園へ行った時の写真。



らくだ図書館！？

魅惑的すぎるネーミングですが、中にはいったい何があるのでしょうか。

しかし平仮名で「らくだ」と書かれると、自分のことかと思って一瞬ドキッとします。



近くに行ってみましたが、ドアは固く閉ざされています。

らくだ図書館の入口は、開けてはいけない禁断の扉！？

さらに近付くと、こんな貼り紙がありました↓

らくだ図書館ご利用のみなさまへ

## 休館のお知らせ

らくだ図書館は、2月からこの建物を別の目的に利用するため、休館いたします。

移転して継続するかどうか、その場合の移転先などはまだ決まっておりませんが、決まり次第掲示いたします。

ご利用のみなさまにはご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、勝手ながら図書館は1月2日より当面のあいだ休館とさせていただきます。

らくだ図書館、休館のお知らせ。

しかもコレ、今年の2月ではなく、去年からずっと貼りっぱなしみたいです。

せっかく来たのに、残念すぎる……。

まあ、いっか。

そのネーミングは、ここで引き継いでやるぜ！（というわけで、ブログ名決定）



らくだ図書館は残念でしたが、天王寺動物園にはフタコブラクダがいます。

せっかくですので、会いに行きましょう。

こちらのラクダは、秋田市生まれのコニーちゃん（メス）↓

1996年生まれと書いてあるので、今はおそらく15歳でしょうか。



携帯で撮ったので、ピントが甘いですね……。この日は、カメラを持ってなかった……。

その隣りに、もう一頭いました↓  
大人しいコニーちゃん違って、元気に歩き回ってます。



写真では伝わりにくいですが、巨大です。そして、こちらのラクダは、名前が書いてありません。

おお！  
ひたすら歩き回ってくれているおかげで、正面からの写真が撮れました！



アゴが歪んでいるのは、口をモグモグしているから。  
さすが反芻動物ですね。

そんなこんなの、天王寺動物園。  
次回は是非、カメラ持参で晴れた日に行こうと思います。

ゆうパックの「同一あて先割引」を利用して、このラノ第二陣を投稿完了。

(\*一年以内に同じ住所にゆうパックを送る場合、以前の伝票を提示すると、料金が50円引きになるというサービス)

郵便局員に「はは、コイツ『このライトノベルがすごい！大賞』に何度も投稿してやんの」と思われたら恥ずかしいですが、それでも50円引きを選ぶ自分は大阪人。

そう思いつつ封筒を出したら、近所の郵便局のお姉さん、  
「80サイズですがいいですか？ もう少し端を折ったら、60サイズで送れますよ？」

なんと！

そんなことわざわざ教えてくれるなんて、最近の郵便局は親切ですね。

らくだ「中の書類が折れるので、そのままでもいいです」  
お姉さん「そうですか。ギリギリ80サイズになりますが、すみません」  
……と言いつつ、新しいゆうパック伝票をさり気なく渡してくれる。

うわ、やべえ！

ワナビであることが、バレてるのか！？（確かに来週もう一回送る予定）

ひたすら恥ずかしいけど、そんなことで赤くなっちゃう、純情ワナビの自分は嫌いじゃない。

そんなこんなで、とにかく第二陣を投稿完了してきました。  
今回はワナビ戦を投下したので、来週になったら新作（第三陣）を送ろうと思います。

去年まさかの締切り当日応募忘れをやったので、今年は絶対忘れないようにしないとあ……。

本日は、おでかけ記事。

京都市右京区にある「車折《くるまざき》神社」へ、初詣に行って参りました。



まずは入口。

こちらは正面ではなく、嵐電側（北側）の入口です。

自分は阪急嵐山から歩きましたが（徒歩 15 分程度）、嵐電の車折神社駅で下りれば、神社の目の前に辿り着けます。



神社のご由緒。

昔ある人が牛車に乗ってここを通ったら、いきなり牛が倒れて車が折れたので、この名前が付いたそうです。

(ワナビ的には、どうしていきなり牛が倒れたのか気になりますが……)



背の高い狛犬。

通常左側の狛犬は口を閉じているものですが、何故だか大きく開いております。

一方こちらは、境内の中の狛犬↓

よく見ると、右前脚にミサंगा……！？



車折神社の本殿もさることながら、同じ境内にある「芸能神社」も忘れてはいけません。

この芸能神社は、芸術・芸能全般にご利益があるということで、雑誌やテレビ等で頻繁に紹介されているそうです。

公式 HP

<http://www.kurumazakijinja.or.jp/geinoujinja.html>

ちなみに自分がここへ来たのも、実は芸能神社が目的だったりします。

「ワナビ能力も芸のうちだよな！」という自己解釈の元、はりきってお参りました。



周囲をびっしり囲う朱色の玉垣には、奉納した芸能人の名前が書かれているので、知っている名前を探すと面白いかも。

無事に初詣を済ませた後は、芸術才智守護のおまもりを get !

去年はピンクにしたので、今年はブルーにしてみました。(同じ内容で二色ある)

というわけで、今年も頑張るぞー！

ブログ開設、一週間。

最初は訪問者ゼロだったらどうしようと心配していましたが、旅行ブログから移動してくださった方もチラホラいるようで、とりあえずホッとしています。

ワナビブログって世間の需要は少なそうですが、まあこれはこれで。自分も投稿者さんのブログを見るのが趣味で、見ると励まされるので。

小説書きって基本的に地味で孤独な作業なので、

「一次通過した」

「この賞に投稿した」

「評価シートが届いた」

等々のつぶやきを見ると、自分の執筆とは直接関係なくても、励まされるんですよね。

それに名前を知ってる人が通過してると、こっちも妙に嬉しくなったり。  
(知ってるといっても、一方的に応援しているだけですが)

そんなこんなで、今後もひっそり更新していく予定ですので、よろしくお願い致します。

とりあえず今は、電撃に送るタイトルを考案中。

自分の電撃の投稿スタンスは、

「変なタイトルで一次通過して、周囲をどよめかせることが目標」

とりあえず「好きです、ザビエル様っ！」はSD落選後に投入しますが、一次落ちの可能性も高いので、変なタイトルをもう1~2つ送り込みたいところです。

やっぱり「バンジヨーニ！3」を書くかなあ……。

新カテゴリ、「執筆の心得」。

心得なんて言っても所詮はワナビのひとりごとですが、もしかしたら他の投稿者の方々の参考になるかもしれない内容を、このカテゴリに書いていこうと思います。

本日は、「バンジョーニ！ 2」の話を少し。

旅行ブログの時にもチラッと書きましたが、投稿作で続編を書くのは、

**「デメリットばかりが多く、それを越すメリットがない」**

↑これに尽きると思います。

そもそも既刊作の続編であれば、

- ・ 読者が1を読んでいるという前提
- ・ 表紙絵
- ・ 帯の宣伝文句
- ・ 背表紙の簡単なあらすじ
- ・ 巻頭のキャラクター紹介

等々で、文章の一行目を読んでもらう前に、読み手にはかなりの量の情報が入っていると思います。

しかし投稿作では、それらが何もない状態で、いきなり文章の一行目。

その状態で主なキャラクターとその人間関係、基本的な舞台設定、1で起こった事件等をわかりやすく説明して、なおかつ続編として1以上に話を広げていくのは、まさしく至難の業だと。

実際バンジョーニ！ 2の場合も、その辺をうまく処理できないまま話を進めてしまったので、「キャラが立ってない」と言われてしまいました。

それから「続編を書くくらいなら、作者に相当の思い入れがあるはずなのに、それが伝わってこない」とのお言葉も。

そんなわけで、投稿作で続編を書くのは、難易度を上げるだけの行為だと痛感。

しかし「バンジョーニ！ 3」を書く気持ちは、結構真面目にあるので、もしかしたら次回の電撃に投稿するかも。

いいじゃん！

デメリットはわかってるけど、このキャラもっと書きたいんだもん！

ちなみに「続編書くな」とは言われなかったのだから、電撃に限って言えば、2を送っても規定違反扱いにはならない模様です。（まあ、あまり歓迎される行為ではないと思いますが）

以上です。

また何か思いついたら、このカテゴリに書こうと思います。

このラノ、また投稿完了。

今回も、ねちっこく同一あて先割引を使いましたが、  
「中身は書類ですか？ それなら同一あて先割引よりも、レターパックの方が安く送れますよ？」

近所の郵便局、マジ親切すぎる。

しかし、このラノはレターパックの使用を推奨してないんで……。  
そうじゃなければ、切手を貼って普通にポストに投函してるさ……。

とにかくにも、そんなわけで投稿完了。  
このラノは2月末日に結果が出るようなので、ドキドキしつつ待とうと思います。

ちなみに今回の新作は、エロもギャグも控えめなさわやか路線だから、誰に見られても大丈夫！

何か一作見せてと言われたら、まずはこれを見せようかなという、そんな作品に仕上がりました。

しかしながら、メインの男性キャラは、職業ニートですが。  
誰に見られても大丈夫な、さわやか路線のニート。

……………。

去年からの自分の作品を振り返ってみると、  
「ワナビ」⇒「サディスト」⇒「ザビエル」⇒「ニート」

この流れの中、次は何を書いたらいいんでしょうか。

バンジョーニ3も（たぶん）書くけど、たまにはマトモな作品も書こうかなあ……。

このラノに送った、投稿作。  
特に受取拒否もされず、先方に到着したようです。

いやー。  
HP で追跡できると、安心できますね。

あ、そうそう。  
追跡といえば、こんな思い出が。

シンガポールから電撃に投稿する時に、EMS（国際宅急便）で直接送ったことがあるんですが、通関（？）に時間がかかったせいか一週間近く届かなくて、ものすごくハラハラしたことがあります。  
（普段なら、三日で届くので）

EMS には、本当にたくさん思い出がありますね。

原稿だけなら書類扱いにしてもらえるけど、フロッピーが同梱されていると、小包扱いになって値段が高くなったり。

書類扱いで出そうとしたら、スタッフに封筒を撫でられて、

「む、この固い物は何だ？」  
「ダブルクリップです」  
「それは書類じゃないだろう。小包扱いにするぞ」

手厳しいぜ、シンガポールポスト……。  
しかし係員によってはあっさり書類で受けてくれたりして、一種のギャンブルでした。

そんなこんなの、海外ワナビ生活。

今はそんな余計な気をつかう必要もなく、普通に締切り日までにポストに投函すればいいので、郵便事情的にありがたい限りです。

昨日に続いて、海外ワナビネタ。

タイトルにもある通り、以前シンガポールに住んでいた時、投稿作を盗まれた経験があります。  
(正確に言うと、「置き忘れてなくなった」)

忘れもしない、5月のある日。

その日は、職場で印刷した原稿を持ち帰って、誤字脱字のチェックをする予定でした。

帰宅前に駅前のフードコートで食事して、さて、原稿を……。

ん？

あれれ？

やべえ！

フードコートに、原稿置いてきた！

ちなみに時間は、夜の9時半……。

全力で走っていけば、10時の閉店までに、店に戻れるはず……。

そんなわけで、暗闇の中を全力疾走。

閉店前にギリギリ到着しましたが、しかし原稿の入った袋は見つからず。

- ・ 店の人
- ・ 付近のお客さん
- ・ 皿を片付けるおばちゃん

に聞いてみましたが、結局見つかりませんでした。

トホホ……。

まあしかし、幸いここはシンガポール。

日本語で書かれたワナビの小説なんて、どう考えても盗作されたりしないはずなので、おそらくクリアケース目的で盗られたんだと思います。

そんなこんなで、盗まれた投稿作。

後日再印刷して送りましたが、華麗にGA前期一次落ちでした。

本日発売の「野性時代 2月号」を立ち読みしてきました。  
二次通過は 130 作⇒ 15 作で、自分の名前はありませんでした。

残念……。

けどまあ、一次通過しただけでも十分に嬉しいので、それほどショックではありません。

ほっ、本当なんだからね！

別に、強がりなんかじゃないわよ！？

そんなわけでフリーになった「地中海」は、ぼちぼち他の賞に使い回そうと思います。

と、ここで枚数のカベが！

現代と新潮の要項を見てきましたが、いずれも規定枚数は 250 枚以上……。

これだと 230 枚の地中海は送れないので、3月までしばらく寝せといて、すばるにダメ元応募してみよう  
と思います。

一次落ちでも、別にいいよ！

そもそも一般エンタメは、自分のテリトリー外だし！

(と言いつつ、テリトリーのラノベでも落ちまくり)

とにかくまあ、これで発表待ちの賞が一つ減ったので、来週(たぶん)発表のSDに期待を込めることに  
します。

頑張れ、ザビエル様ー！

頑張れ、サディストー！

しかし今回SDに送った作品は、一次落ちのワナビ戦も含めてキワモノ投稿なので、評価シートが激しく楽  
しみです。

きっと、たくさんダメ出しされるんだろうなあ……。

今月は、15日が日曜日。

そのせいか、SDの「編集部から」が、一足早く更新されておりました。

さっき読みに行ったら、編集長の発言の中に、

「私が読んだ分の評価シート作成がやや遅れており、申し訳ない」

……ん？

ってことは、編集長も一次落ちの評価シート書いているの？

「一次から編集が読むよー」はGAのウリだと思っていたのですが、SDもその可能性があるってことでしょうか。

まあいずれにせよ、評価シートがもらえるのは、ありがたいことです。

一次落ちで選評も来ないと、どこを直せばいいのか、根本的にわからないですからね。

それはそうと、もうすぐ1月下旬。

このラノの「下旬」は本当に末日ですが、SDの「下旬」は18日だったり20日だったりするので、来週からもう油断できません。

例年だとこの時期はGA後期の発表を待っているんですが、GAは1次発表が2月15日に延びてしまったからな……。

そうは言いつつ、GAも公式HPに載る前にブログ速報が出たりするので、あまり油断はできませんが。

とにかく冬は発表ラッシュなので、ドキドキしつつ待とうと思います。

とりあえず今は、SD2次⇒GA1次⇒このラノ1次だ……！

次に書くもの、ようやく決定。

年始にこのラノ用の作品を仕上げから、二週間近くウダウダしてましたが、ようやく次に書くものが決まりました。

前から一度書きたかった設定なんですけど、それだけで 80 枚引っ張れるほど濃い内容ではないので、30 枚 × 3 話の短編集にして出そうと思います。

電撃大賞の質問集を見ると、

「それぞれの話に関連性があるって、全体として一つの作品になっているなら、短編集を長編として出してもいいよ」

と書いてあるので、その方向でいきます。

(ちなみに久し振りに電撃 HP を見たら、体裁が変わっていて地味にビビった)

まあ本音を言うと、短編って長編よりも逆に難しいと思うんですが。

少ない枚数でキャラクターや舞台設定の説明をして、その上で話を展開して、読み手にとって納得のいく結末を用意しなきゃいけないし。

それでも一度やってみたい設定なので、とりあえず頑張ってみます。

似たような作品ばかり書いてても成長できないから、たまには冒険しなきゃね！

そもそも電撃に問題作を送り付けることが、自分の最大の趣味だし！

しかしウケを狙いすぎて一次落ちしたら話題にすらしてもらえないので、最低限一次通過してタイトルを世に披露できるよう、真剣に書こうと思います。

よーし、頑張るぞー！

電撃に送る予定の、短編集。

30枚×3話構成（予定）のうち、2話分しか思い付かないまま書き始めましたが、ひとまず書き始めてみたら、どうにか3話目も書けそうな気がしてきました。

うん、やっぱりそうだ！

ネタが出ないと悩んだ時は、実際に書いてみたらいい！

人との会話も、そうですね。

親しい家族や友人と「2時間話せ」って言われたらたぶん話せるけど、それだって、最初から2時間分の話題を用意してるわけじゃないですもんね。

実際に会って話しているうちに、

「昨夜の夕食はカレーで……」

「カレーといえば、駅前に新しいカレー屋が……」

「駅前といえば、あのデパートは今日からバーゲンで……」

……という感じに、話がどんどん流れていくわけで。

上の会話は適当な例ですが、小説書きもある単語が出ることによってそこからネタが生まれたりするので、深く考えずにとりあえず書き始めるのがいいのかな、と思いました。

しかしまたもや、枚数の壁が！

とりあえず骨格を作ってみたら、それぞれの話が30枚に満たない感じなので、25枚に下方修正することに。

プロローグ3枚とエピローグ3枚を入れて、無理やり81枚にするか……。

小説を書くたびに本当に毎回思うんですが、自分のワナビ戦は、常に下限枚数に届くかどうかの戦いです。

修学旅行といえば、お菓子賭けてトランプ！

という文章の「お菓子賭けて」が、「犯しかけて」に変換された自分の PC は、正直おかしいと思います。

まあね……。

修学旅行といえば、ドッキリラブイベントは必須だけどね……。

中途半端に意味が通じてしまう分、「お時間よ」が「叔父関与」に変換された時と同じくらい、衝撃的な誤変換でした。

ちなみに自分は、ワード 2007 を使ってますが、意外と便利な機能を発見。

ワードの文章校正機能は、重ね言葉を見つけると、波線を表示して教えてくれます。

例を挙げると、

「一番最初に」、「およそ十五分ほど」、「約三メートルくらい」

別に不自然ではない箇所も細かく指摘してくるので、今までずっと無視していたんですが、場合によっては言い換え候補が出てくることを今知りました。

それに気付いたのは、例によって波線が出たこの文章、「罪悪感を感じる」。

「罪悪感」で右クリックすると、

言い換え候補⇒「罪の意識を感じる」

「感じる」で右クリックすると、

言い換え候補⇒「罪悪感を覚える」

うおおおお、すげえ！

別に指摘されなくても普通に言い換えできそうですが、ワードがちゃんと文章を判読して言い換え候補を挙げてくれることに、ものすごい感動を覚えました。

しかしながら、ためしに「満足感を感じる」と入力しても、候補どころか波線すら出てきませんでした……。よくわからんぜ、ワード……。

当ブログ、「らくだ図書館」。

自分では軌道に乗っているつもりですが（自分ではね）、今も旅行ブログの方を更新チェックして下さる方がいるようで、何となく申しわけない気分になってます。

堂々と移転宣言したつもりだけど、実はわかりにくかった……？  
それとも見た目がまったく一緒だから、混乱を招いている……？

もしくは、「ワナビブログなんか見たくねーぜ、さっさとこっちの旅行記事更新しろや」と思われているとか。

もしそうだとしたら、それはそれで嬉しいですが。  
今のブログよりも、旅行ブログの方が頑張って書いていたので。  
(今も真剣に書いてますが、写真をアップする手間がない分ラク)

それからもう一つ、旅行ブログの時と今とを比べると、携帯からのアクセスが増えている模様です。

どうしてだろう？  
文字だけだから？

しかし依然として変わらないのは、西日本からの訪問者さんが多いこと。

関西（ダントツ）、中国四国、九州

だいたいこの辺に集中していて、関東から来てくださる方は人口が多いせいか割といますが、それより北はほとんどなく……。

まあ、アクセス解析もあまり正確ではないですけど。  
ちなみに自分がアクセスすると、ナニワに分類されます。  
(高槻は大阪府だけど、どう考えてもナニワではないと思う……)

そんなこんなで、これからも当ブログをよろしくお願い致します。

アマゾンで予約していた、カンフーパンダ2が届きました。

ん？

発売日って、明日じゃなかった？

まあいいか、後でさっそく見てみよう！

ちなみに自分は、執筆に行き詰まるとショッピングサイトを徘徊する癖があって、そのせいで積み本や積みゲームがどんどん増えていきます。

来週と再来週には、特にプレイ予定のないゲームが送られてくる……。まあ完全にどうでもいいわけではなく、気が向いたらやるけれど……。

しかしそう思いながら結局手をつけず、未プレイのまま売ってしまったゲーム多数。プレイしたけど序盤でつまずいて、すぐに売ってしまったゲームも多数。

特に3Dアクションが苦手中の苦手で、ディズニーが好きでキングダムハーツを買ったものの、ディズニーキャラにまったく会えないままプレイを断念したという、寂しすぎる経験があります。

あのゲームは主人公をうまく操作できず、最初の南の島から抜け出せなかった……。  
(↑ 冒険始まってない)

PS2のハガレンも、同様の理由でリタイヤでした。  
アルと連携した必殺技が一つも出せず、アルを激しく恨んだ記憶があります。

DSのカンフーパンダも、難しい技が一切出せず、体当たりだけで話を進めました。  
(ちなみに、途中で体当たりが効かない敵が出てきたので、売ってしまった)

まあ、今日届いたDVDは、本当に見たかったからいいんですけど。  
明日は(たぶん)SDの二次発表なので、今日のうちに見ておくことにします。

SD の二次発表、今日はナシかー。

関東地方は大雪（？）らしいので、今日来たらホワイト二次発表だと思っていたんですが、そうはならなかった模様です。

残念だなあ。

今夜のブログは、二次落ちの落選記事を書こうと思っていたのに。

いや、まあね……。

勝手に信じ込んでいただけで、20 日発表なんて、どこにも書いてないけどね……。

そういえば第 10 回の一次発表もこんな感じで、これはもう年内は更新来ないのかと思いきや、まさかのクリスマス発表キタァァだった記憶が。

まあさすがに、今回の二次発表は、そんな忘れられないメモリアル・イベントにはならないと思いますが。来週中には、さすがに更新されるだろうし。

こうなると金曜日とは限らないので、来週一週間はワクワクドキドキ。

今日来なかったことは残念ですが、夢を見られる時間が増えたと思いつつ、F5 連打を繰り返すことにします。

ああ、そうそう。

メモリアル発表と言えば、今年の GA 一次はバレンタイン発表ではないかと、ひっそりと期待中。

公式 HP には 2 月 15 日とあるけれど、GA は前日にブログで先行発表する傾向があるので、その可能性は高いはず……！

SD 二次発表の後の結果待ちは、GA の一次発表になるので、そちらも期待して待とうと思います。

カンフーパンダ2を見終わりました。

1の時も思ったけど、あのバカバカしいセンス（最大級の誉め言葉）、大好きだぁぁー！

ラストの砲弾を受け流す場面はある意味超展開なんですけど、その直前にポーは悟りをひらいているので、あ  
あいう技が出てきても観客は納得して見られるんだなぁ。

……という風に、見ながら自分の心理を分析したり。

そういう前振りが何もなくていきなりあの技が出てきたら、単なる「何コレ」作品になるんだろうけど、そう  
じゃないところがカンフーパンダのいいところだと思います。

バトル物は、ともすると「俺 TUEEE」になるので、自分も気を付けようと思います。

それはそうと、現在執筆中の短編集。

ペースはいつも通りなんですけど、ものすごく疑問に思う点が一つ。

「この話は、果たして本当に面白いのか??？」

各話を30枚弱でまとめようとするので、ストーリーを隙なく進行させなきゃいけないので、そのせいでそう  
感じてしまうのかも。

無駄なネタとか、無駄なギャグとか、無駄な宣教師の入浴光景とか、そういうものを入れられないので、書  
いていて若干退屈です。

いや、小説を書くこと自体は、もちろんすごく楽しいんですけど。

ただ「変な悪ふざけができない」という意味では、書きながら退屈です。

まあ、たまにはいいか。

最初から最後まで悪ふざけで書いて、「笑えないコントが続いてツライです」と言われるよりは、真面目に  
ストーリーを進行させた方が、読み手の印象だっていいはずだ……！

そんなわけなので、今回はこの方向性で書いてみることにします。

このブログは、言ってみれば毎日が雑談なので、カテゴリ分けがしにくいです。

それでも、無理やり分けてみる……。

一つのカテゴリが 100 を越えているブログなんか見ると、「分けてくれええー！」とってしまうので……。

それはそうと、昨日の続き。

今日も昨日に引き続き、「この話は面白いのか??？」と疑いながら、どうにかノルマ分を書き切りました。

こういうテンションで書き進めるの、本当はあまり良くないと思うんですけど。

だって、

作者が「面白くないかも……」と思って書いている作品は、たいてい面白くない。

しかし、その逆も真理。

作者が「超おもしろええええ」と思って書いている作品も、たいてい面白くない。

それなら一体、どんなテンションで書けばいいんでしょうか。

普通か？

普通だと思えばええのんか？

まあともかく、延命措置のかかったスーパーダッシュの発表を待ちつつ、頑張ります。

しかし発表が来た時点で死亡が確定する今の状況は、サッカーの延長サドンデスのようだと思います……。

およそ V ゴールできそうな気がしねえぜ……。

電撃大賞の公式 HP に、評価シートのサンプルが！

たった今長編の上限枚数を確認しに行って、初めて気が付きました。  
(いつも 80~85 枚の低空飛行なので、上限を気にしたことがなかった)

いやー。

それにしても、まさか見本を公開してくれるとは。

ホームページの構成が変わっていることは知ってましたが、応募要項と質問集の内容は変わっていませんでした。

開いてみると、おお、すげえ！

電撃の評価シートだ！

一口に「評価シート」と言っても、賞によってその体裁はまったく違うので、こういう見本があるのは嬉しい限り。

特に自分は、評価シート・コレクターなので、余計に興奮。

ええ、そうです。

バンジョーニの使い回しも、各賞の評価シートを集めることが目的です。

(気分はもはや、スタンプラリー)

しかし、見本は文章ビッシリですね……。

自分が持ってる分は、あれよりずっと字が大きくて、コメント少ないんですが……。

まあとにかく、見本の公開はありがたいことです。

これを機に、他の賞もやってくれたら嬉しいですね。

ガガガの二次発表が来ましたね。  
というわけで、「その他の賞」という新カテゴリを作成。

別に「ガガガ」でもよかったんですが、自分の選考と関係ないのに、そこまでするのも悲しいので……。

ええ、そうよ？  
アタシは一次落ちだけど、何か文句でもあるかしら？

それはともかく、二次通過は 10 作品。  
104 本⇒ 10 本とは、毎年のことながら、二次が狭き門すぎる。

バンジョはローテーションで送りましたが、自分だったら本命投稿は避けたい賞です。

やだー、らくださんってば、負け惜しみい？  
一次落ちしたからって悪口言うの、格好悪いよ？  
(言われる前に、自分で言っとく)

それから、ガガガ以外にもう一つネタを。

富士見ファンタジアって、1 月末締切りになったんですね！  
しかも郵送不可で、完全にデータ投稿に移行！？

そもそも自分の書く作品はファンタジアの下限に達してないので、ホームページ自体チェックしてなかったんですが、先程ようやく知って（遅すぎ）驚きました。

紙不要でデータを郵送という賞は、GA やえんためがありますが……。  
そうか、もはや完全にウェブ投稿の時代なのか……。

富士見は良くも悪くも古い印象があったんですが、時代は変わるものですね。

というわけで、特にオチはありませんが、今日は以上です。

落選です、ザビエル様っ！  
使い回しの無限地獄へ、スーパーダッシュ！

……というわけで、SD は二次落ちでした。

しかし自分の場合、そもそも二次は通らない前提で発表を見に行ってるので、そこまで激しくショックではないかも。

どれくらい通らない前提かというと、今回二次落ちした作品をすでに電撃体裁で印刷完了していて、紐閉じ用の穴開けを済ませている程度に、通らない前提です。

もう封筒に切手も貼ってあるし、何なら今日中にポスト投函できるよ！  
(まあ、まだ早すぎるのではありませんが)

本当に……。  
この準備の良さを仕事で発揮できていたら、こんな人生歩んでいなかっただろうに……。

あっ、それから今思い出したけど、今回のSDの選評は、ラクダ切手で返って来るんだ！  
送った時は楽しかったけど、落ちた前提で考えると、逆にすごく寂しくなるわ……。

まあ、それはさておき。

これで発表を待つてヤキモキする状態からは解放されたので、気分を切り替えて、電撃用の作品に取り組みもうと思います。

今書いてる短編集が割と真面目な話なので、次はザビエル様並みに、自分の趣味に走ったトンデモ作品を書きたいなあ……。

すばるに送る原稿を、少し早めに印刷しておこう。

そう思って要項を確認したら、文字組の指定が「30 字× 20～40 行」。

???

30 字はわかるけど、20～40 行って？

その範囲内であれば、何行でもいいのか？

よくわかりませんが、とりあえず中間を取って、30 字× 30 行で印刷してみました。

うわあ……。

なんか文章が、すごいスカスカだなあ……。

普段は 42 字× 34 行で出力してるもんなあ……。

そう思って文字のサイズを大きくしたら、今度は「児童向けか！？」と思える原稿に。

しかし小さすぎるよりはいいと思うので、「見やすさ第一」を貫いて、この内容で送ってみようと思います。

ついでに「原稿用紙 3 枚のあらすじを同封」と書いてあるのですが、出力した物でいいのか要項を見ただけではイマイチわからないので、そちらは原稿用紙に手書きしようと思います。

一般の要項って、ラノベに比べると、ものすごくアバウトですよ。

野性時代も「40 字× 40 行で出力のこと、しかしそれ以外も可」だったしなあ……。

「それ以外も可なら、その指定は何なんだ！？」と思ってしまおうんですが……。

そんなこんなですが、一般に出せる持ち作品は地中海一つしかないので、ドサクサに紛れてこっそり投稿しようと思います。

すばるは「右肩ひも」なので、ひっそりと穴開け作業中。

今使っている小型の穴開けパンチが、一度に5枚しか開けられない物なので、100枚以上になると地味に憂鬱です。

(たぶんこれ、小学生の時に宿題の穴開け用に買った物だと思われる)

本当は85枚の作品なのに、30字×30行で出力したら、まさか118枚になるなんて。その弊害(?)がこんなところに現れるとは、予想外。

前の職場にいた時は、業務用の巨大な穴開けパンチがあったので、「らくださん、最近熱心に資料整理してるね!」と同僚に言われつつ、こっそりそれで開けていたんですが……。

ついでに原稿印刷でプリンターを占拠している時に、「忙しい中ごめん、私も一枚だけ印刷していい?」と言われた時などは、チクリと胸が痛みましたが……。

まあ、アレですね。

一言で表現すると、ダメワナビです。

それはともかく、すばるの準備。

穴開けはとりあえず済んだので、この後原稿用紙にあらすじを書く予定。

1月・2月は応募予定がありませんが、その分3月・4月に送る予定が集中しているので、今のうちにできることはやっておきたい。

というか、執筆中の短編集が退屈なので、できれば他の作業をしたい。

なんて言ってサボっていると、ずっと完成しないんですけどね……(苦笑)

もう最後のエピローグ部分は書けていて、枚数調整を兼ねた途中のエピソードを書き足せばいいだけなので、できれば今月中に仕上げたいところです。

30 字× 30 行で印刷した、すばるの原稿。

体裁の崩れがないかどうか、一応読み返してみたら、すごいことになってました。

- ・ 三点リーダの途中で改行
- ・ ダッシュの途中で改行
- ・ ルビのある単語の途中で改行
- ・ 文末に【っ！】が来て、三文字ぶら下がり

ワナビの皆様であればどういう状態かわかるとは思います、

ものすごく汚い。

うーん……。

この原稿をこのまま出すのは、ちょっと気が引けるなあ……。

ラノベの字数指定はだいたい「39 字～42 字」なので、その範囲で問題が起きないように書いてはいるんですが、まさか 30 字で印刷するなんて考えてなかったからなあ……。

とはいえ、直していたらキリがなさそうなので、このまま送ることにします。

(処理を間違っているならともかく、ただ単に見た目が汚いだけなので)

別にいいよね！

落ちる場合は、体裁の乱れが原因ではなく、もっと根本的な理由で落ちるんだ！

そんなわけで、一見「児童向けか！？」と思わせる文字の大きさと、そのくせ体裁は乱れまくりの、すばる投稿原稿が完成致しました。

しかしまだ投函するには早いので、一か月ほど寝かせた上で、三月になったら出そうと思います。

たまに鋭い文章校正をしてくれる、ワード先生。

以前「罪悪感を感じる」という文章を入力したら、すかさず波線を表示して、重ね言葉を指摘してくれました。

そんなワード先生ネタ、第二弾。

「仕事の愚痴をこぼしたり、上司の悪口を言う飲み会」

この文章の「こぼしたり」に波線が出たので、何が悪いのかと思って右クリックしたら、

【「～たり」は繰り返して使います】

指導、入りました！

ワード先生、あざーっす！

つまり上の文章は、

「仕事の愚痴をこぼしたり、上司の悪口を言ったりする飲み会」

……じゃないといけないんですね。

うん。

言われてみれば確かにそうだ。

しかし「繰り返して使います」って、なぜ丁寧語……。

ワードはワナビの間では評判が悪いですが、意外といい人なのかもしれません。

そんなワード先生と一緒に、今夜も執筆を頑張ろうと思います。

今月末が締切りの、富士見ファンタジア。

自分の作品だと下限枚数に届かないんですが、もう一度改めて要項を見てみたら、こんな一文を発見しました。

原稿枚数

「※経過措置として、40字×40行で60枚換算に達している作品については第24回後期限定で受け付けることといたします。」

あ、そうなんだ！

それならさすがに、下限は余裕でクリアだわ。

しかしできれば、この作品は、春締切りのいずれかの賞に送りたい……。

(電撃か、えんためか、GA 前期か)

富士見に応募すると一次発表がいつ来るかわからないので、やはり今回は経過措置にすぎりつかず、大人しく投稿を見送ることに致します。

HPを見たところ力を入れてるみたいだし、今までよりは早くなりそうな感じですが、そうは言っても保証はないからなー。

やはり今回は、発表の早いえんためを選ぶ方向で。

去年の光速っぷりには、マジで驚かされたからな。

(締切りが5月下旬に延びたのに、まさかの7月1日発表)

そういうわけなので、この冬の投稿作業は完全に手終いして、春に向けてコツコツ書こうと思います。

またしても、すばる話。

118枚の原稿を送るのは初めてなので、切手を貼る前に一応重さを量ってみたら、ギリギリ500gをオーバーしてました。

500g以上だと、えーっと、切手は580円……。

うおおおお、量ってよかった！  
危うくいつも通り、390円で送ってしまうところだった！

以前引き出しの整理をしていたら500円切手が出てきて、「500円なんて高額な切手、どういう機会に使うんだ」と思っていたんですが、そうか、こういう機会に使えるのか。

この重さになると本当にレタパの方がいいんでしょうが、せっかく500円切手を使用するチャンスなので、そっと封筒に貼り付けて送ってみようと思います。

とにかくにも、危うく料金不足で送るところでした。

それはさておき、執筆状況。

すばるの原稿を準備しているうちに、いつの間にか短編集が仕上がりました。  
(いやまあ、「いつの間にか」じゃなくて、自分で書いたんですが)

短編……。  
難しかった……。

今はとりあえず仕上がっただけの状態なので、これから印刷して、紙状態での読み直しに入ろうと思います。

2月は普通の月より少し短いので、来週からはまた新作に取り組めるよう、あらすじ書き含めて頑張ります。